



学校法人北部学園ほくぶ幼稚園

10月の園だより



2026年9月30日発行

～ 夏から秋へ 充実の2学期を過ごしています。～

今年の9月は昨年度のように毎日が照り付ける35℃超えの連続ではなく、後半は少し秋らしく涼しい気候の時間もあり園庭でも畑でも心地よく遊びました。大人の遊び心から登場した「廃材ドラム」が一日中楽しいリズムを奏でています。ファームの村山さんも子ども達が楽しむ姿をワクワク想像しながら、作成に協力してもらっています。砂場の道具も遊びが広がるよう、子ども達の姿から学び増やしていています。気候がいい時期になります。自分の好きな遊びを見つけ友達との繋がりが深まっていけるようにと、大人もワクワクしながら一緒に遊んでいます。

さて、10月末は運動会を迎えます。ほくぶ幼稚園は、開園当初から「普段のように子ども達が無理せずに力を発揮できるように」と園庭にこだわって執り行ってきました。途中、数年間は運動公園を利用したこともありましたが、コロナの期間に工夫した取り組みから保育者を感じ学んだことが現在の運動会の姿に繋がっております。「各年齢の発達に無理をせず、一人一人が仲間の中で十分に力を発揮して楽しめる運動会」を目指して取り組んでいます。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

未満児さんは大勢の前で見てもらおうという体験に挑むよりも、日々の安定した保育を充実していきます。しかしその中でしっかりと年長さんの「ソーラン節」をまねして踊る姿、よいドンごっこを楽しむかわいい未満児さんの姿が今年も楽しみです。

年少さんは、初めての運動会になります。1学期からの遊びや活動で付けてきた腕の力・足の力・跳ぶ力等・・・発揮して取り組みます。リズムの姿も4月当初に比べ随分と成長を感じます。当日は、保護者の皆様もご参加いただくプログラムを計画しております。どうぞ子どもさんの成長を身近で感じながら楽しませて下さい。

年中・年長さんはすこしずつ室内での取り組みも始まり、運動会を近くに感じてきている子ども達かと思えます。これから取り組みがクラスの高まりと、一人一人の成長に繋がっていくように職員も心を尽くしていきます。

どうぞ、一緒に温かく見守って頂きますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

年中・年長 劇の会について



毎年3学期末に、1年間の集大成として「劇づくり」に取り組んでいる年中・年長クラスです。これまでは学年ごとの発表の日程を計画しておりました。その中で、『運動会のように異年齢の姿も見ることで、年中さんは次年度の姿を想像し、年長さんは1年間の成長を感じながら保護者も見られるのではないかな』という職員の意見がありました。全体で検討し今年度から取り組んでいきたいと思えます。

2学年に兄弟がおられるところは配慮していきます。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

年中・年長劇の会・懇談会の予定： 2月17日（水）ばんだ組・ぞう組
19日（金）うさぎ組・きりん組

10月・11月の行事予定

- 10月 1日《木》 2027年度 1号児入園願書受付日
22日《木》 年少親子運動会（予備日23日）
29日《木》 年中・年長運動会（予備日30日）
- 11月 25日《水》 あそびっこ1日目
26日《木》 あそびっこ2日目（27日予備日）



【運動会について】

開始時間などは各学年で異なりますので、後日発行の「運動会ニュース」でお知らせします。駐車場の混雑が予想されますので、各家庭1台のご利用となります。（2台目の駐車はできません。）以上児の運動会参加人数のアンケートを10/1（木）に配信します。※切10/8（木）
※10月22日（木）と10月29日（木）の2日間は送迎バスの運行はありません。運動会の円滑な運営のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆運動会・あそびっこ係の皆様お世話になります。年長より各1名リーダー（簡単な記録係）をお願いしたく、対象の方へ園から声をかけさせていただきます。よろしくお願いいたします。

あそびっこ参加日

25日（水） きりん・うさぎ・
ぺんぎん・ちゅうりっぷ

26日（木） ぞう・ぱんだ・
あひる・すみれ・たんぽぽ
参加日は変更可能です。後日
アンケートをとります。係の方へ
も10月にお知らせします。

～今年も！親子ふれあい農園で冬野菜栽培が始まりました！～

例年、幼稚園ファーム（北部JA横）で親子ふれあい農園を村山さんが主催されています。今年は15世帯の参加申し込みがあり、シルバーウィーク期間の中で、ご家庭の都合が良い日に、好きな冬野菜を植える取り組みをしました。はじめてでも、村山さんが畝づくりから丁寧に教えて下さいます。これから、すくすく育つ冬野菜が楽しみです。



夕日がきれい♪

だいへん！さつまいもが食べられている！？

やっと涼しくなってきた今日この頃。夏の前に植えたさつまいもはどうなっているかな？と見に行くと、なんと、猪に食べられて荒らされているのを発見！どうする？と作戦会議をしました。「落とし穴つくる！」「たたかう！」「狼つくる！（かしこ？）」「柵作る！」ノリノリで話が止まらない子ども達。後日、案をもとに木の棒と紐、スコップを持って畑へ。「柵作りたい人一緒にする？」と誘い、気づくとみんなで黙々と杭打ち。杭に紐を通して完成！お芋の無事を祈ってその日は帰りました。しかし、その後、またお芋を見に行くと、なんと。柵が倒れ、食べられているお芋達。「おおかみつくらなん」「カカシつくる！」と諦めない子。「しょうがないからいのししにあげよう。」「かわいそうだし」と情けをかける子。と意見が割れました。さあ、どうしよう。
子ども達といのししの戦いは…続く？ （ぺんぎんぐみ担任：宮崎薫）



全国障害者問題研究会—in 宮崎—

学んできました！！



第42回全障研九州ブロック研究集会宮崎大会は、9月12日（土）、13日（日）宮崎市内で行われ、ボランティアを含め約170名が参加し、大変意義のある大会となりました。また、配信限定の参加者も含めると200名を超える参加者となりました。ほくぶ幼稚園からは9名で参加し宮崎奈津緒先生が提案を発表されました。

第1講座

「発達とは矛盾をのりこえること～発達の道すじと指導・支援の視点～」
白石正久氏（龍谷大学名誉教授）

年齢毎に現れてくる節の理解を保育者が理解して専門的な目を持っておかないと困った子どもという面では子どもを見られなくなってしまうため、節ごとに現れる姿を理解して受け止めることが求められる事、矛盾を乗り越えていくことで人として発達していき、そこを支えていく事が大切だと学んだ。

年長特別支援担当 古澤 広野

記念講演 「人間発達の種まくしごと～子どもや障がいのある人びとのいのちと平和を守る社会を創るために～」
白石正久氏（龍谷大学名誉教授）

「発達」は、「〇歳で〇〇ができる」ことや「〇歳レベル」という、外のものさしに合わせるのではなく、子どもの「ねがい」から始まる。いつもそばにいる人を求める時「手つなぎ」の相手に自分から働きかけることで安心し、「乗り越えていきたい」と仲間と繋がっていくことを学んだ。外の物差しではなく、子どもの姿を捉え、矛盾を乗り越え、その子らしくいられるように土台を作っていきたい。

年少特別支援担当 高原 杏花

第2講座 『問題行動』をどう読み解くか～心理発達を理解したかかわり方を中心に～ 米衛政光氏（社会福祉法人麦の芽福祉会理事長）

子ども達は、色々な感情の中や行動で悲しさ、寂しさ、不安をアピールしていく。その行動（言葉）の裏側にある物はなにか？そこを共感する為には、

①その行動を制限するのではなく、願っている活動の保障をする。

②好きな物を一緒に見る視線の共有

③好きな事を一緒にする動作の共有

④子どもの気持ちを言語化する情緒の共有

⑤子どもの動作、気持ちを言語化する等を大切にしながら子ども達と関わっていく事大切さを学んだ。

以上児主任 永田 なるみ

第1分科会 乳幼児期の保育・療育

提案発表となり緊張もしましたが、世話人の方々にフォローもしていただき、無事に終えることができました。保護者同士のつながりの大切さ、子ども自身の自律を信じること「幼児期にいい体験をたくさん行い人を信じる力をつけてほしい。人を選び、環境が合わなければ逃げることも覚え、自分の人生を選び取ってほしい」という言葉がとても印象的でした。ほくぶ幼稚園のらいおん活動は、療育ではなく、園の中にある特別支援のありかたをととても評価されていて、改めてほくぶ幼稚園が積み重ねてきた特別支援の考え方やらいおん活動の存在を実感しました。

年少学年長 宮崎 奈津緒

子どもたちの今

遊びの中にある小さな学び



ローゼルの
実の皮むき
楽しい！！



自分の身体を
上手にコントロ
ールして平均棒
を渡ります。



友だちと協力しながら、水の速
さ、流れる方向、葉っぱを浮か
べ「なぜ？」を追求し合う子ど
もたち。



楽器を叩く棒がな
いからのこぎり
を使って作ろう！



「勝って嬉しい花いち
もんめ」
「じゃんけんポン！」



「どうしたの？大丈夫？」
1歳児さんに優しい以上児さん。

友だちと楽しみながら、
協調性とコミュニケーシ
ョン能力を身につけてい
ます。



なかなか難し
いなあ
何度も挑戦！
(0歳児)



お人形さんのお世話をしています。
まるでお母さんですね。(0,1歳児)